

当文教厚生委員会に付託された案件については、2月27日午後1時45分から、全員協議会室において、委員全員出席のもと、慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

始めに、議案第1号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

各種の給付金について、減額補正をしているが、当初の見込みより対象者が少なくなった理由は何か。また、未申請者に対する周知方法は。とに対し、

当初予算における臨時福祉給付金の見込みについては、国の示す算定方法により対象者数を算出しました。9月中旬の時点で申請率が74.7パーセントであったため、再度、市報による広報のほか、民生委員による一人暮らし高齢者への勧奨や重度障がい者の方については、電話での案内を実施しました。また、来庁が困難な方や施設に入所している方などについては、訪問をし手続きを行いました。その結果、知多半島内の半田市を除く4市の申請率は78パーセントですが、本市においては97.1パーセントの支給率となりました。

また、子育て世帯臨時特例給付金及び子育て支援減税手当の見込みについては、公務員の児童手当がそれぞれの勤務地での手続きとなっているため、正確に対象者を把握することができず、国から示された算出方法である一般対象者の約10パーセントを公務員数として見込んだ影響が大きいと考えます。9月中旬時点での申請率は、いずれも94パーセントを超えており、催告を数回実施し未申請者の解消に努めました。とのこと。

出産育児一時金の増額について、当初の見込み件数は何件か。とに対し、

当初予算では140件を見込みましたが、平成27年1月末現在で132件の申請があり、当初見込みを上回る可能性があることから、今回13件分の増額補正を組みました。とのこと。

アイプラザ半田の空調設備改修工事について、冷却塔ファンの脱落が今回なぜ判明したのか。また、施設の老朽化の状況は把握しているか。とに対し、

施設の管理委託をしている業者の点検により脱落していることが判明しました。冷房を使用する時期に間に合わせるため補正予算対応で改修工事を実

施いたします。また、施設の老朽化している部分は把握しており、計画的に改修を行ってまいります。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第4号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

インフルエンザの流行により療養給付費が1億4千万円の増額補正となっているが、この額で不足することはないか。とに対し、

今年は例年より早くインフルエンザ警報が発令されたことなどから、療養給付の増を見込み、増額補正するものです。なお、今回の補正額で補えるものと考えています。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第5号については、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第6号については、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。